



発寒ひかり
保育園だより

2025年

1月号

巻頭言

きりん組（5歳児）が大好きな絵本の一つに『きつねのおきやくさま』があります。主人公のきつねが、ひよこやうさぎを太らせてから食べようと食べ物を与えているうちに、「優しいお兄ちゃん」と呼ばれ、最後はひよこたちを守るためにオオカミと闘い亡くなってしまおうというお話です。

「どうして食べようと思っていたのに、守ろうとしたのかな？」と子どもたちも聞いてみると、「やさしいっていわれてうれしかったから」「なかよくなったから」など、様々な感想が出てきました。「自分よりも強そうなオオカミと闘ってまで、守ったのすごいね」と話していると、Sくんが「やさしいがいっぱいいっぱいあつまったら、ゆうきになるんだよ」と教えてくれました。他の子どもたちも納得し「ゆうきがでると、つよくなれるんだね」「だからあんぱまんってつよいんだ」「やさしくてつよいきりんさんになりましたい！」とみんな話しました。Sくんの言葉をきっかけに、優しい＝強さであると考えたきりん組の子どもたち。朝のホールで遊具を片付けていると「きりんさんつよいからこべるよ！」とすすんで手伝ったり、年下の子が困っていると「どうしたの？」と優しく寄り添ったりしています。

力の強さや発言力ではなく、相手のことを思う優しい気持ちを持つことで、勇気が湧いて一步を踏み出す強さになる。そう考えることができるきりん組の子どもたちを誇りに思います。卒園してからも、この素敵な考え方が子どもたちの心の根つことなり、自信を持って未来に羽ばたいていけるよう、残り3ヶ月の保育園生活を大切に過ごしていきたいと思います。

きりん組 れもんファミリー担任 田口るり子